

## 複式第3・4学年 国語科学習指導案

3年 6人 4年 7人 計13人  
指導者 新保 恵

### 1 単元・教材

場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう  
気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう

「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書3年下)  
「ごんぎつね」(光村図書4年下)

### 2 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

(第3学年)

これまでに子供たちは、「きつつきの商売」で、したことや言ったこと、気持ちを表す言葉を基に場面の様子や登場人物の気持ちを想像することについて学習している。また、「まいごのかぎ」の学習で、出来事から登場人物の変化について気を付けて読むことを理解し、登場人物の気持ちの変化を確かめることを身に付けてきた。しかし、場面と場面を比べて、人物の様子や出来事の違いと理由について考えて読むことや、それにもなう感想をもつことは、初めての学習である。

本単元では、登場人物の様子や出来事の違いを文章から読むことを学ぶとともに、物語の中で場面と場面を比べることについて捉えさせる。そして、登場人物の様子や出来事を比べながら感想がもてるようになることを主なねらいとしている。

ここでの学習は、3年「三年とうげ」での、組み立てを捉えながら、民話や昔話を読む学習へと発展していく。

#### (2) 指導の基本的な立場

教材「ちいちゃんのかげおくり」は、「かげおくり」を題材に書かれた戦争文学で、時間や出来事の経過に合わせて五つの場面を比べながら読む教材である。1行空きで場面が分けられており、その移り変わりが捉えやすい。また、人物の会話を「つぶやきました」、「きき返しました」と表すような細やかな表現も特徴である。

そこで、【意欲付け】では、4年生と共通の課題を提示した後、比べて読んで感想をもつことを確認する。さらに、モデル文を参考にどのような感想がもてればよいかを捉えさせる。【習得】では、教材から場面と場面を比べて読み、人物の様子や出来事の違い、その理由を捉えさせる。【活用】では、自分で選択した本の場面を比べて読みながら感想をもち、交流させる。感想の交流という単元終末の言語活動を通して、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもつことができたかを振り返らせる。

(第4学年)

これまでに子供たちは「白いぼうし」で、人物や場面の様子から場面と場面のつながりについて考え、読み深めたいことを問いの形にして読むことの学習をしてきた。また「一つの花」の学習で、題名や会話、繰り返し出てくる言葉や重要場面で用いられる言葉に着目して読み深め、作者の思いに迫ることに取り組んできた。しかし、情景から登場人物の気持ちを想像したり、他の人の感じ方に触れ、物語に対する考えを深めたりすることは、初めての学習である。

本単元では、場面の情景や登場人物の行動、会話からその気持ちを捉えたり、場面と場面を結び付けたり比べたりして登場人物の気持ちの変化を捉えさせる。そして、考えたことや感想を交流させ、感じ方には違いがあることに気付かせることを主なねらいとしている。

ここでの学習は、4年「プラタナスの木」での場面の移り変わりに着目しながら登場人物の変化と出来事の間を捉えて読む学習へと発展していく。

教材「ごんぎつね」は、六つの場面から構成されており、会話や行動から登場人物の気持ちの変化を読む教材である。5場面まではごんの視点で書かれており、その心情や変化が捉えやすい。また、情景描写も特徴的である。

そこで【意欲付け】では、3年生と共通の課題を提示した後、気持ちの変化を捉えて読み、感想をもつことを確認する。さらに、モデル文を参考にどのような感想がもてればよいか捉えさせる。

【習得】では、登場人物の気持ちの変化を読むために、行動・会話・情景を読むことや、場面と場面を比べたり結び付けたりして読むことを捉えさせる。【活用】では、1冊の本を登場人物の気持ちの変化に着目させながら読み、感想を交流させる。単元終末の言語活動を通して、感じ方や考えたことを共有し、感じ方に違いがあることに気付けたかを振り返らせる。

(3) 子供の実態

国語科の学習内容、複式学習、ガイド学習への意欲に関する調査結果は以下のとおりである。

(実施日 R 4. 7. 15)

調査項目	第3学年		第4学年	
① 物語を学習することについて	好き6人	嫌い0人	好き6人	嫌い1人
② 登場人物の様子の読み取り	正答2人	誤答4人	正答2人	誤答5人
③ 登場人物の気持ちの読み取り	正答5人	誤答1人	正答0人	誤答7人
④ めあてを考える学習場面	好き5人	嫌い1人	好き2人	嫌い5人
⑤ 見通しをもち、解決の方法を自分で決める学習場面	好き5人	嫌い1人	好き4人	嫌い3人
⑥ 考えを発表して友達と話し合う学習場面	好き6人	嫌い0人	好き6人	嫌い1人
⑦ まとめ、振り返りの学習場面	好き6人	嫌い0人	好き3人	嫌い4人
⑧ 自分に合った方法で進める自由進度学習	好き4人	嫌い2人	好き5人	嫌い2人
<p>3年生の全体的な傾向は以下のとおりである。</p> <p>《学習内容について》</p> <p>①物語の学習を全員が好み、出来事や登場人物の気持ちを読むことを楽しみとしている。</p> <p>②③様子の読み取りで「おしあいへしあいしてのぞきこんだ」様子や「むねをおどらせて」はどのような気持ちかなど、様子や気持ちを問われた問題を答えられない子供が多かった。</p> <p>《複式学習について》</p> <p>④⑤めあてを考えたり、授業の見通しをもったりする学習場面に対し、「何をするか分かりやすくなる」とほとんどが答えているが「難しい」と感じている子供もいる。</p> <p>⑥友達の意見を聞いて話し合う学習場面に対し、「みんなが教え合える」、「知らなかった考えが分かる」と感じている。</p> <p>⑦話し合いを通してみんなの考えをまとめたり、振り返りをしたりする学習場面に対し、「どれだけできたかが分かる」、「これでいいんだなと思える」と答えている。</p> <p>⑧自分で選んで進める学習場面に対し、「いろいろな考え方を知ることができる」と感じている子供が多い一方、「迷ってしまい遅くなる」と考えている子供もいることが分かった。</p>	<p>4年生の全体的な傾向は以下のとおりである。</p> <p>《学習内容について》</p> <p>①物語の学習を好んでいるが、「意味が分からなくなるときがある。」と答えた子供もいる。</p> <p>②③川の中で「歯がカチカチになって力が背中に集まる」様子や「いたずらをするときのような顔」はどのような気持ちかなど、様子や気持ちを問われた問題を答えられない子供が多かった。</p> <p>《複式学習について》</p> <p>④⑤めあてを考えたり、授業の見通しをもったりする学習場面に対し、「思いつかないことがある」、「面倒くさい」と苦手意識をもっている子供が多いことが分かった。</p> <p>⑥友達の意見を聞いて話し合う学習場面に対し、ほとんどが「みんなでした方が楽しい」と答えているが、「難しい」と感じている子供もいる。</p> <p>⑦話し合いを通してみんなの考えをまとめたり、振り返りをしたりする学習場面に対し、「学習を振り返ることができる」と感じている子供がいる一方、「思いつかないことが多い」と考えている子供もいる。</p> <p>⑧自分で選んで進める学習場面に対し、「自分で考えてまとめるのがいい」、「一人で頑張れる」と感じている子供がいる一方、「これでいいか心配」と考えている子供もいることが分かった。</p>			

(4) 指導上の留意点

複式学級で異学年一緒に学習することについて、お互いに刺激を受けている。そこで学年間で学習内容を可能な限りそろえて授業を行っていききたい。そうすることで、各時間の「めあて」や「まとめ」だけでなく、自力解決の方法やその結果にも関連性が見いだされ、学習内容の系統性も明らかになり、より一層、異学年の子供同士が協力したり、学び合ったりする複式学級のよさを生かすことができると考える。

また、両学年ともガイド学習のよさを感じてはいるものの、国語科の学習においては進め方が分からなかったり、途中で止まってしまったりと苦手意識をもっている現状がある。授業の流れをパターン化し、自分たちで学習を進められるようにしていきたい。また、単元の導入で全員に授業の見通しをもたせることで、ガイドだけでなく全員で協力して学習を進めていけるようにしたい。さらに、子供の思考の流れに寄り添った授業展開になるように、ガイド学習の充実を図り、1単位時間においても、同時導入・同時終末による「ずらし」なしの学習過程によるガイド学習を行う。そうすることで、同時間接指導の時間をより多く確保し、個別対応が適切にできるようにする。

ア 必要性

学習に動機を与え必然性をもたせるために、学校行事と関連させて課題を提示し、相手意識や目的意識をもちながら、主体的に学習が進められるようにする。また、単元のゴールの姿をイメージし、共有させ、「〇〇ができるようになりたい」、「そのために〇〇をする」といった単元を通して身に付けたい力を意識して授業に臨ませる。特に、4年生はめあてを立てることに苦手意識がある。そこで、学習計画の段階で、毎時間のめあてを自分たちで考えられるようにゴールに向かうための学習計画を考えさせる。

イ 自律性

学習内容・方法を自分の意思で決めるために、全員で見通しを考え、具体的な解決方法を共有した後に、自分に合った方法で自力解決が図られるようにする。その際、自力解決の手掛かりとして教室掲示やロイロノートスクールに既習事項を整理しておく。また、獲得した感想につながる読み方を活用する学習では、自由進度学習とし、自己調整力を働かせながら取り組ませる。

ウ 関係性

知識及び技能同士を結び付けて、個人の考えを広げたり深めたりするために、子供の自然なつぶやきや発言で交流させ、考えを練り上げていく。個々の気付きや感じ方を理解し合いながら、さらに読み方が深まっていくようにしたい。自分たちでまとめができるように、考えを交流する際は、友達と自分の考えの共通点や相違点、関連性などをオンタイムで書き入れ、思考が可視化できるようにする。自由進度学習の際も、学年別交流を取り入れ、感じ方の広がりや深まりを実感できるようにする。

エ 有用性

学習の意味を見だし、自分の資質・能力に自信がもてるようにするために、働かせた国語科の見方・考え方や自己の考えの変容とその要因、次時への意欲等を意識して振り返らせる。さらに、学ぶことのよさを実感させるために、3年生と4年生同時に学びの振り返りを交流させ、学習の内容の関連性や系統性を捉えさせる。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

◎ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思C(1)オ)	◎ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。(思C(1)カ)
○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)	○ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思(1)エ)
○ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思(1)エ)	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思C(1)オ)
○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。(思C(1)カ)	○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)

(2) 評価規準

第3学年	観点	第4学年
様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。	知識・技能	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができている。	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
登場人物の気持ちや様子の変化について、進んで場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語を読んだ感想をまとめようとしている。	主体的に学習に取り組む態度	学習の見通しをもって、読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに積極的に気付こうとしている。

4 指導計画 (第3学年：全11時間，第4学年：全11時間)

	3年 学習活動	4年 学習活動	
意 欲 付 け	<p>1 ゴールの活動や単元のめあてを設定する。</p> <p>これまでの「読む学習」を振り返り、「物語を読んだ感想を伝え合う」という共通の言語活動を知る。</p> <p>感想って苦手だから、難しそうだな。 思ったことを感想にすればいいのかな。</p> <p>読書祭りで自分が選んだ物語の感想を伝えよう。</p> <p>よりよい感想をもつには、どのようにすればよieldろうか。</p> <p>・比べて読む読み方 ・感想のもち方</p>	<p>1 ゴールの活動や単元のめあてを設定する。</p> <p>自分が思ったことを書いているよ。 自分の感想と友達の感想と比べるって どういうことだろう。</p> <p>読書祭りで物語の深まった感想を發表しよう。</p> <p>・気持ちの変化のとらえ方 ・友達の感想の生かし方</p>	意 欲 付 け
	<p>2 学習計画を立てる。</p> <p>① 比べて読む方法をさがす。(空) ② 比べて読む方法をさがす。(かげおくり) ③ 比べて読む方法をさがす。(自分が選んだこと) ④ 比べて読んだことを生かした感想のもち方を確認する。 ⑤ 自分が選んだ物語を読んで感想を書く。 ⑥ 自分が選んだ物語の感想を發表する。</p>	<p>2 学習計画を立てる。</p> <p>① 気持ちを読む方法をさがす。 ② 気持ちの変化を読む方法をさがす。 ③ 友達の考えを基に自分の考えと比べる。 ④ 友達の考えを生かした感想のもち方を確認する。 ⑤ 共通の本から自分が選んだ物語や友達が選んだ物語を読んで感想を書く。 ⑥ 自分と友達の感じ方の違いから物語の深まった感想を發表する。</p>	
習 得	<p>3 教材文を基に比べて読む方法をさがす。(全員で) 問：二つの空を比べよう。</p>	<p>3 教材文を基に気持ちを読む方法をさがす。 問：ごんの気持ちが表れているのはどこだろう。</p>	習 得
	<p>4 教材文を基に比べて読む方法をさがす。(全員で) 問：かげおくりを比べよう。</p> <p>くらべて読むには、何に注目すればよieldろうか。</p> <p>くらべて読むには、出来事・会話・様子に注目すればよい。</p>	<p>4 教材文を基に気持ちの変化を読む方法をさがす。 問：ごんの気持ちの変化が表れているのはどこだろう。</p> <p>気持ちの変化を読むには何に注目すればよieldろうか。</p> <p>気持ちの変化を読むには、場面同士の気持ち・行動・情景を比べて読めばよい。</p>	
	<p>5 教材文を基に比べて読む方法をさがす。(自分で) 問：自分で選んだ <input type="checkbox"/> を比べよう。</p>	<p>5 自分の考えをよりよくするために、どのように友達の考えを生かしたらよieldかをさがす。 問：友達の感想から自分の感想を見直そう。</p>	
活 用	<p>6 比べて読んだことを生かした感想のもち方を確認する。 くらべて読んで、感想をもつ!ポイント表づくり</p>	<p>6 気持ちの変化をとらえ、友達の考えを生かした感想のもち方を確認する。 友達の感想とくらべて、それを生かした感想をもつ! ポイント表づくり</p>	活 用
	<p>7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で物語を選ぶ。</li> <li>自分で選んだ物語を読む。</li> <li>自分で選んだ物語の感想を書く。</li> </ul> <p>10～11 感想を交流したり、友達が選んだ物語を読んだりし、学習を振り返る。</p> <p>物語を読むときは、話の中で同じものや違うものを比べたり、様子や違いを見付けながら読んでいきたい。</p>	<p>7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で選んだ物語を読み、感想を書く。</li> <li>友達が選んだ物語を読み、感想を書く。</li> <li>自分が選んだ物語を読んだ友達の感想を確認し、それを生かして自分の感想を完成させる。</li> </ul> <p>10～11 感想を交流したり、友達が選んだ物語の感想を読んだりし、学習を振り返る。</p> <p>物語を読むときは、気持ちの変化を讀んでいきたい。他の人の感想にも興味があります。</p>	